

## プログラム

### 第1部 合同例会

- 12:30 受付開始  
13:00 点鐘  
ウクライナ国歌・日本国歌斉唱  
ロータリーソング「奉仕の理想」  
13:08 来賓紹介  
6クラブ会長とメンバー紹介  
13:15 会長代表挨拶  
13:18 来賓挨拶  
13:23 幹事代表報告  
13:25 新会員紹介（7/1以降入会）  
13:35 点鐘

### 第2部 IM

- 13:35 IM開会  
映像放映  
13:45 点鐘  
ガバナー補佐挨拶  
13:50 実行委員長挨拶  
13:55 講演① 在日ウクライナ大使館特命全権大使  
14:45 講演② 日本に避難されている方々  
15:10 テーブルデスカッション  
15:40 休憩（10分）  
15:50 懇親会開会  
ガバナー挨拶  
15:55 乾杯  
演奏 かわもとひろのぶ氏  
17:10 総評  
次期ガバナー補佐紹介 挨拶  
次期ホストクラブ紹介 挨拶  
ロータリーソング「手に手つないで」  
閉会の言葉  
17:30 点鐘

国際ロータリー第2780地区  
第4グループ IM  
2022~2023



Listening to your voices  
— HOW WE CAN SUPPORT YOU —

### 第4グループ

茅ヶ崎ロータリークラブ  
寒川ロータリークラブ  
綾瀬ロータリークラブ  
茅ヶ崎湘南ロータリークラブ  
茅ヶ崎中央ロータリークラブ  
綾瀬春日ロータリークラブ

2023年3月5日(日) 寒川神社参集殿

ホストクラブ  
茅ヶ崎中央ロータリークラブ

## ごあいさつ



### 在日ウクライナ大使館特命全権大使 Dr. セルギー・コルスンスキー

この度は国際ロータリー第2780地区第4グループのIM（インターシティミーティング）が開催されること心よりお慶び申し上げます。

そして本会議においてウクライナ国を代表して講演をさせて頂く機会を頂き誠にありがとうございます。

皆様ご存知の通り昨年2月24日に始まったロシアからの侵攻によりウクライナは惨苦の状況にあります。現在も国内各所でライフラインが破壊され国民は大変厳しい環境に置かれており、やむなく本国を離れた人は600万人を超えます。

これまで日本国政府をはじめ多くの日本国民の皆様にも多大なる支援を頂いていること、また、本国からの避難者受け入れに対して多くの皆様から援助を頂いていること、特にこの地区では子ども2名を含む7名の受け入れをサポートして頂いたことは幸甚の至りです。

さらにロータリークラブをはじめとする世界各地の多くのボランティア団体からも支えられていることに心より感謝申し上げます。

ロータリークラブは会員個々の奉仕の精神を重んじる組織と伺っております。

本会議において皆様の力が結実し、その精神がさらに世界の多くの人々に広がっていくことを心より願って止みません。

Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Ukraine

Dr. Sergiy Korsunsky



### 国際ロータリー第2780地区第4グループ ガバナー補佐 當間 安弘

COVID-19で、開催できなかったIM（インターシティミーティング）を3年ぶりに開催いたします。現在、IMは正式プログラムではありませんが、第4グループ会長幹事会、そして6クラブ理事会の総意で、今年度は実施をさせていただけることになりました。第4グループ6クラブの会員のみならず、大いに語り、大いに友情を深める場を作ることができればと思っております。

Facebookの一枚の写真で茅ヶ崎に、ウクライナからの避難民が来たことを知りました。その数日後、会員のレストランに支援者と避難民の方が食事にいらっしゃいました。私たちが、避難民の方にどんな支援ができるかを話し合う切っ掛けになりました。最初はほんの数人で、I Serveを実践しておりました。我々のクラブ以外にも、I Serveを実践し、所有する住居を提供してくれた方もいました。着の身着のまま、来日した避難民の方に住居を提供し、衣服、生活必需品、移動用の自転車、口座開設用の印鑑などを提供したり、無保険の中で歯の治療をしてくれた方、柔道や書道といった日本の文化に触れてもらい、少しでも日本に、茅ヶ崎になじんでもらいたいと積極的に支援をしてくれた方もいらっしゃいます。大きな問題の一つは自立です、支援の一環でコミュニケーションも取りにくい中、就労を許容してくれたメンバーもいました。今、私たちができることは、ウクライナの悲惨な状況から避難される方を支援するグループの方と共に、避難してこられた方々の心を癒し、そして、帰国できるまで、避難民の方々が自立した生活を送れるように支援することではないでしょうか？もちろん、ウクライナ国内で困っている状況を支援することも忘れてはいけないことだと思います。

個人での支援が、いま、クラブでの支援に変わりつつあります。できうるものであれば、グループ全体で、そして、地区全体で取り組むことができれば、大いなる知恵で、困難にあっている方を支援していく機会になればと思っております。

今年度、国際ロータリー会長のジェニファー・E・ジョーンズのテーマは、「IMAGIN ROTARY」です。今日のIMで、ぜひ、国をあとにしなければならなかった方々が、以前の生活をいつ、どのように取り戻すことができるかを、IMAGINしていただく機会にさせていただきたいと思っております。

## ホストクラブ会長挨拶



### 茅ヶ崎中央ロータリークラブ 会長 神尾 元洋

本年、ホストクラブとしてIM（インターシティミーティング）を開催する機会を頂き大変光栄に思っています。

感染症の拡大の影響により、人と人のつながり方は以前と異なり様々に変容してしまいました。

ようやく、感染への対策もコントロールできるようになってきた中で3年ぶりにIMが開催されることは、地域のロータリーがつながりを取り戻す大切な機会になります。

同時に今、世界はロシアによるウクライナ侵攻やそれに伴うエネルギーの問題など新たな困難にさらされています。このような折、今回のIMでは紛争により母国を離れなければならない方々の思いに耳を傾け、自身の身に置き換えて何ができるか考える機会としたいと考えております。

これまで茅ヶ崎市内において7名のウクライナ避難民の方々を受け入れ、当ロータリークラブの会員はその支援者のサポートを行っています。

避難民の受け入れには、行政の支援は補助金の整備が主であり、生活環境を整えるためには民間の支援者によるサポートが不可欠となっています。

今回、支援者の方々とのつながり、サポートする中で、日本社会が国外から人を受け入れることに、多くの障壁があることを知りました。

日本はその移民政策の遅れから十分な支援環境が整っていませんでした。政府はウクライナからの避難民受け入れに際し特別な法整備をおこなっていますが、国と各自治体との連携が十分に整っていないため、各地域で避難民を受け入れる環境を整えることは困難を要しています。

このため、出入国在留管理庁の管理下で避難民が多数在留している状況にあり、現在もビザの発給が制限されています。

今回、ウクライナ大使をお招きし、実際に避難民や支援者の方々の講演を通して、日本社会のかかえる問題点を共有し、今後、地域で紛争や災害が発生した際の避難民の方々の受け入れや移民政策について考えます。

あらためて、今回のIMがロータリーのつながりをより深め、新たな課題に共に手を携える大切な機会となることを心より願っております。何卒よろしくお願い申し上げます。